

## 第1章 東日本大震災津波に対する岩手県教育委員会の取組について

### 第1 主な被害状況等

#### 1 人的被害

	児童生徒		教職員	
	死亡	行方不明	死亡	行方不明
小学校	17人	4人	1人	2人
中学校	15人	—	—	—
県立高校	45人	7人	1人	1人
特別支援学校	3人	—	—	—
その他	—	—	1人	—
計	80人	11人	3人	3人

#### 2 物的被害

	被害箇所数	被害額	
県立	高校	61校/ 68校	1, 691, 899千円
	特別支援学校	12校/ 14校	19, 626千円
	教育関係施設	15施設	914, 480千円
市町村立	小学校	214校/392校	10, 648, 932千円
	中学校	114校/189校	6, 485, 606千円
	幼稚園	36園/ 60園	284, 122千円
	その他の学校関係施設	6か所	
	社会教育施設	248施設/679施設	9, 099, 198千円
	社会体育施設	134施設/1214施設	5, 640, 131千円

#### 【参考】現段階で1億円以上の被害が確認された県立学校・施設

施設名	被害額	被害の概要
高田松原野外活動センター	860, 352千円	全壊（管理棟の最上階まで浸水）
高田高校	752, 720千円	本校舎：3階まで浸水、第一体育館全壊 広田校舎：実習棟1階浸水
宮古工業高校	499, 588千円	校舎1階・体育館浸水、校庭に瓦礫流入
宮古高校	101, 133千円	ヨット部部室全壊、教員住宅1階浸水

※ 1、2 はともに平成24年 2月13日現在

3 転出（平成23年5月1日現在）

	県内→県外
小学校	137人
中学校	38人
高等学校	36人
特別支援学校	0人
計	211人

4 転入（平成23年9月1日現在）

	県内→県内	県外→県内
小学校	522人	154人
中学校	137人	43人
高等学校	56人	19人
特別支援学校	3人	1人
計	718人	217人

第2 県教育委員会の取組(1)：避難所の設置・運営

1 被災者の受入

県内で避難所がもっとも多かった平成23年3月19日時点で、避難所となった学校は7市町村において、小学校33校、中学校13校、高等学校9校、特別支援学校3校、幼稚園1園（学校以外の教育施設、廃校施設を除く）であり、避難者の数は15,857人となった。

その後、避難住民の仮設住宅への入居が進み、平成23年8月31日をもって、学校・教育関係施設の避難所については、すべて閉鎖された。

2 被災地への支援

(1) 県教育委員会事務局による支援

平成23年3月15日から宮古地区、釜石地区及び気仙地区の避難所に指定されている学校に対し、県教委事務局職員を6回、のべ67名派遣し、避難所運営の支援を行った。

(2) 県立学校による支援

平成23年3月19日から避難所に指定されている県立山田高校及び県立大槌高校等に対し、内陸部の県立学校教職員を7回、のべ60名派遣し、避難所運営の支援を行ったほか、避難所における幼児・児童への読み聞かせ等支援としてのべ69名を派遣した。

(3) 市町村教育委員会による支援

内陸部の各市町村教育委員会が協力して、避難所に指定されている沿岸部の小中学校に対し教職員を派遣し、避難所運営の支援を行った。

市町村教委	派遣時期	支援地域	派遣数
盛岡教育事務所管内	3/20～3/31	宮古地区	4回 のべ111名
中部教育事務所管内	3/20～3/26	釜石地区	2回 のべ19名
県南教育事務所管内	3/23～3/26	気仙地区	1回 のべ21名

第3 県教育委員会の取組(2)：学校再開支援

1 小中学校再開支援プロジェクト

(1) 被災した学校の状況把握〔対象：被災した全小中学校〕

平成23年3月25日から27日にかけて、文部科学省の協力を得て、学校施設に関する応急危険度判定調査を実施した。（市町村教委が同行し、情報共有）

## (2) 学校運営体制の整備・支援等

[緊急対応]

被害状況の確認、被災地域への教職員の派遣、国への緊急要望、転学対応、被災状況を見据えた教職員の配置等を実施した。

[課題対応—新学期に向けて]

- ・学校の児童生徒受入れ状況調査として、平成23年3月24日から4月11日にかけて6回実施した。  
(世帯転住等に対応)
- ・様々なケアが必要な児童生徒等に対する学校の対応として、下記内容を中心とする「学校再建ガイドライン」の作成・提供を行った。(平成23年3月31日)

<学校再建ガイドラインの主な内容>

- 1 学校の体制づくりについて
  - 2 児童生徒に関すること(①教科書・学用品、②心のケア、③健康管理、④就学援助)
  - 3 教職員に関すること(①服務等、②健康管理、③給付事業、④相談窓口)
- ※その他関係資料、必要な様式等

## 2 高等学校再開支援プロジェクト

### (1) 被災した学校の再開

県立高田高校	・大船渡東高校萱中校舎(旧大船渡農業高校校舎)を仮校舎として再開 ・必要な改修の実施、生徒通学手段確保のためスクールバスを運行 ・始業式は5月2日、入学式は5月10日に実施
県立宮古工業高校	・1、3年生は宮古水産高校、2年生は宮古商業高校で授業を再開 ・始業式は4月27日、入学式は4月28日に実施 ・必要な改修を実施し、夏休み明け(平成23年8月29日)から自校で授業を再開

### (2) 学校運営体制の整備・支援等

[緊急対応]

被害状況の確認、被災地域への教職員の派遣、国への緊急要望、高校入試・転学対応(後述)、被災状況を見据えた教職員の配置、被災した学校の体制整備等を実施した。

[課題対応—新学期に向けて]

- ・避難所となっている学校の対応(大槌高校については教室棟で被災者生活)に関して、大槌高校と大槌町で調整を行い、4月20日に始業式、4月22日に入学式を実施することで合意した。
- ・様々なケアが必要な児童生徒等に対する学校の対応として、「学校再建ガイドライン」の作成・提供を行った。(平成23年3月31日)

### 3 被災児童生徒の心のサポート

- ・総合教育センター教育相談担当、養護教諭等の現地派遣を行った。
- ・県精神保健センターの派遣する精神医療チームとの連携を行った。
- ・スクールカウンセラー連絡協議会を開催し、「こころのサポートチーム」スーパーバイザー 兵庫教育大学大学院 富永良喜教授による講演を実施した。(平成23年4月12日)
- ・児童生徒のこころのサポート(急性期)研修会を実施した。(平成23年4月8日～4月18日、沿岸地区の教員等の希望者を対象に10会場で実施)

### 4 高校入試関連

#### (1) 入試日程の変更

- ア 一般入学者選抜、杜陵高校(定時制)前期日程合格者発表  
平成23年3月16日(水)⇒3月22日(火)
- イ 再募集出願期間  
平成23年3月17日(木)～22日(火)⇒3月23日(水)～31日(木)
- ウ 再募集・杜陵高校(定時制)後期日程学力検査等実施  
平成23年3月28日(月)⇒4月4日(月)
- エ 再募集・杜陵(定時制)後期日程合格者発表  
平成23年3月28日(月)⇒4月6日(水)
- オ 入学式(全県的な被災状況に鑑みて「標準日」を設定)  
平成24年4月15日(金)

#### (2) 入学選考料及び入学料の納入免除

被災により生活の基盤を失った生徒に係る入学選考料及び入学料の納入を免除した。

#### (3) 被災した生徒の転学

すべての県立学校が協力して、被災した生徒の就学機会の確保に全力を尽くすことなど、被災した生徒の転学に係る基本的な考え方について、平成23年3月22日付で各県立高校学校長あて通知した。

### 5 市町村教委に対する学校再開のための人的支援

#### (1) 県教委による支援

甚大な被害を受けた陸前高田市教育委員会に対し、学校再開・復興に向けた事務を支援するため、平成23年3月22日以降段階的に、県教委から教育専門職3名(教育次長、学校教育課長、指導主事)のほか、事務職員4名、さらに、平成23年4月12日から社会教育分野の専門職(社会教育主事)1名の計8名を派遣した。

#### (2) 東京都による支援

東京都教育庁から12名(指導主事、建築職等)が、大槌町教育委員会の学校再開支援を行うため派遣され、平成23年4月11日から現地入りした。

#### (3) 名古屋市による支援

名古屋市から建築職1名及び事務職1名が陸前高田市教育委員会の学校再開支援を行うため、派遣された。

#### 第4 県教育委員会の取組(3)：教育委員長らによる被災地訪問

八重樫教育委員長らが被災地の市町村教育委員会や避難所となっている学校を訪問し、教職員等への激励及び状況視察等を行った。

○平成23年3月22日

宮古市教育委員会、山田町教育委員会、県立山田高校、県立宮古北高校、宮古市立宮古小学校、山田町立山田南小学校、宮古教育事務所【八重樫教育委員長及び事務局職員】

○平成23年4月7日

陸前高田市教育委員会、大船渡市教育委員会、釜石市教育委員会、大槌町教育委員会、県立高田高校(大船渡東高校)、陸前高田市立高田第一中学校、釜石市立釜石小学校【八重樫教育委員長、小平委員及び事務局職員】

#### 第5 国(文部科学省の動き)(平成23年3月中)

##### 1 笠大臣政務官による現地視察

平成23年3月20日、笠浩史 文部科学省大臣政務官が来県し、今後の支援のあり方等について知事と意見交換を行った。(八重樫教育委員長、法貴教育長同席)

その後、被害状況の把握、市町村教委との意見交換(陸前高田市、釜石市、大槌町)を実施した。

##### 2 現地連絡調整員の派遣

平成23年3月25日から7月29日まで、文部科学省大臣官房付 石崎宏明氏が県教委に派遣された。石崎氏は災害対応業務について国との連絡調整に当たった。

##### 3 鈴木文部科学副大臣による現地視察

平成23年3月28日、鈴木寛 文部科学副大臣が来県し、今後の支援のあり方等について知事と意見交換を行った。(八重樫教育委員長、法貴教育長同席)

また、被害状況の把握、市町村教委等との意見交換(岩手医科大学、山田町、大槌町)を実施した。

(参考：学校再開の状況等（小中学校）)

始業式（平成23年4月5日～4月25日）、入学式（平成23年4月6日～4月27日）

沿岸地域の小中学校178校中、24校が他校又は他施設で授業を再開した。

内陸地域では、盛岡市立厨川中学校が地震被害のため3校（1年生：大新小学校、2年生：青山小学校、3年生：厨川中学校）に分散して授業を再開した。また、県南部の学校を中心に、東日本大震災及び平成23年4月7日に発生した余震被害のため、校舎の一部が使用不能となる学校があった。

他校又は他施設で授業再開した沿岸地域の小学校

学校名	使用校舎（施設）	始業式	入学式
大船渡市立赤崎小学校	大船渡市立蛸ノ浦小学校	4月20日	4月21日
大船渡市立越喜来小学校	大船渡市立甫嶺小学校	4月20日	4月21日
大船渡市立崎浜小学校	大船渡市立甫嶺小学校	4月20日	4月21日
陸前高田市立気仙小学校	陸前高田市立長部小学校	4月20日	4月21日
釜石市立唐丹小学校	釜石市立平田小学校	4月21日	4月23日
釜石市立鶴住居小学校	釜石市立双葉小学校（1～4年生）／釜石市立小佐野小学校（5～6年生）	4月26日	4月27日
大槌町立大槌小学校	岩手県立陸中海岸青少年の家	4月20日	4月25日
大槌町立安渡小学校	大槌町立吉里吉里小学校	4月20日	4月25日
大槌町立赤浜小学校	大槌町立吉里吉里小学校	4月20日	4月25日
大槌町立大槌北小学校	大槌町立吉里吉里小学校	4月20日	4月25日
宮古市立鶴磯小学校	宮古市立重茂小学校	4月25日	4月26日
宮古市立千鷲小学校	宮古市立重茂小学校	4月25日	4月26日
山田町立船越小学校	岩手県立陸中海岸青少年の家	4月25日	4月26日
岩泉町立小本小学校	岩泉町立岩泉小学校	4月13日	4月14日

他校又は他施設で授業再開した沿岸地域の中学校

学校名	使用校舎（施設）	始業式	入学式
大船渡市立末崎中学校	大船渡市立大船渡中学校	4月21日	4月22日
陸前高田市立気仙中学校	旧陸前高田市立矢作中学校	4月20日	4月21日
陸前高田市立広田中学校	陸前高田市立広田小学校	4月20日	4月21日
陸前高田市立小友中学校	陸前高田市立小友小学校	4月22日	4月23日
陸前高田市立米崎中学校	陸前高田市立米崎中学校	4月20日	4月21日
釜石市立唐丹中学校	自校体育館	4月22日	4月23日
釜石市立釜石東中学校	釜石市立釜石中学校	4月25日	4月25日
大槌町立大槌中学校	大槌町立吉里吉里中学校（1～2年生）／県立大槌高等学校（3年生）	4月20日	4月25日

第1章 東日本大震災津波に対する岩手県教育委員会の取組みについて  
(参考)

宮古市立田老第一中学校	宮古市立田老第一小学校	4月25日	4月25日
岩泉町立小本中学校	岩泉町立岩泉中学校	4月13日	4月14日

(参考：学校再開の状況等（高等学校）)

始業式（平成23年4月6日～5月2日）、入学式（平成23年4月6日～5月10日）

高田高校は大船渡東高校萱中校舎（旧大船渡農業高校）を仮校舎として再開した。

宮古工業高校は宮古水産高校（1、3年生）と宮古商業高校（2年生）に分散して再開した。

沿岸地域県立高等学校の再開状況

学校名	始業式	入学式
高田高校	5月2日	5月10日
大船渡高校	4月22日	4月27日
大船渡東高校	4月25日	4月26日
釜石高校	4月12日	4月15日
釜石商工高校	4月14日	4月15日
大槌高校	4月20日	4月22日
山田高校	4月27日	4月28日
宮古高校	4月27日	4月28日
宮古北高校	4月27日	4月28日
宮古工業高校	4月27日	4月28日
宮古商業高校	4月27日	4月28日
宮古水産高校	4月27日	4月28日
久慈高校	4月7日	4月15日
久慈東高校	4月13日	4月15日
久慈工業高校	4月14日	4月15日
種市高校	4月14日	4月15日

